

令和5年度 活動記録③

◇1年間を振り返って



この1年で主に取り組んだことは「コート整備」と「チームビルディング」です。

テニスコートが校舎とグラウンドに挟まれた谷間に位置し、大雨が降ると土砂が流れ込んでくるという危険な状態で、練習試合で他校を招待できる環境ではありませんでした。



立地の問題なので難しい状況ではありましたが、本校の事務や用務員さんに相談しながらお手伝いまでいただき、土嚢を設置することで土砂を食い止めることに成功しました。また、側溝の土をコートに戻すことで悪天候時にも水がコートの外に流れるようにしました。





そんな折りに、事務の方々の理解を得ることができグリーンサンドを投入していただける運びとなりました。コートを中心からフェンスにかけて高さを調整し雨水が流れやすいよう設定し、とにかく平らになるよう部員顧問総出で取り組んだ末、青くきれいなテニスコートに仕上がりました。また、親交のある他校の先生がトラクターとローラーを接続する部品（コート番号も）を制作してくださいました。支援してくださった皆様本当にありがとうございました。



コート整備は特に春から夏にかけて集中的に行ったため、一番練習したい時期に部員達はコート整備に明け暮れていたわけです。「自分達のため」と頭では分かってはいても、彼らにとってラケットの代わりにスコップを持つ毎日は辛く厳しい日々であったと思います。本当に良く頑張りました。ただ、テニスコートを自分達の手で完成させたということは、なかなか経験できるものではないし、きっと彼らの財産になることでしょう。



二つ目の「チームビルディング」に関しては、規律を重んじるよう指導しました。今では挨拶、整理整頓、ミーティングなど当たり前にできるようになりました。欠席も減り、活気をもって練習することができています。また、毎日「人として大切な心構え」を伝え続けています。部活動を通して心構え（心の反応）が変われば、学校生活や家庭生活も少しずつ変化していくかと思います。「ソフトテニス部の生徒は良いよね」と言われる時が来ることを願って粘り強い指導を続けていこうと思います。



私の個人的な理想は「ボトムアップ」です。高校サッカー界の畑先生が広めた「ボトムアップ指導」というものがあります。畑先生は現役高校教員時にボトムアップ指導でインターハイ優勝を収めています。畑先生はコンセプト（枠）だけ決めて、練習や試合についてほとんどを生徒が自己決定しながら活動します。生徒が主体的に活動する中で、先生は質問を投げかけて考えさせるようにします。もちろん、教えなければならないこともありますし、指示命令する時があっても良いと思います。ただ、私は現代社会を生きていく生徒に主体性（人生に責任を持ち、自ら課題を見つけ思考し解決していく姿勢）を身につけて欲しいと思っています。この姿勢は受け身では絶対に身につかない。今は子どもたちに任せている部分は少ないですが、子どもたちの成長と共にその割合を増やしていきたいと考えています。子どもたちの成長が益々楽しみになってきました。

文責：塚原

◇春季合宿 (3/28~29)